

ニュースレターQ

天保8年(1837年)創業 / 第231号(2026年10月1日発行)

スギウラ株式会社

〒370-0006 群馬県高崎市間屋町 2-2-8

【TEL】027-361-5808 (代) 【FAX】027-361-1272

【X (旧 Twitter)】@sugiura_maruq

【HP】<https://www.kamisugiura.co.jp/>

【MAIL】water@kamisugiura.co.jp

【WebShop】<https://kaminoginzadori.com/>

今月の用紙：TANT F-72 70K

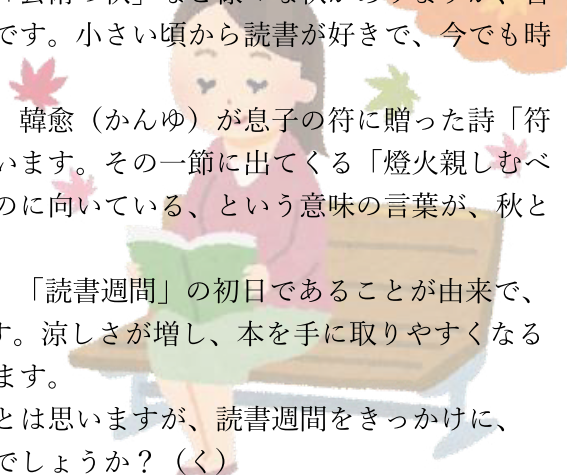
早いもので今年も残り3ヶ月となりました。朝晩は涼しくなる季節ですので、日々の気温差に注意しながら体調管理をしっかりと行っていききたいと思います。今年はインフルエンザも早くから流行していますので、こまめな手洗いやうがいなど、対策をして備えましょう。

さて、秋といえば「スポーツの秋」や「食欲の秋」、「芸術の秋」など様々な秋がありますが、皆さんは何を一番に思い浮かべますか？私は「読書の秋」です。小さい頃から読書が好きで、今でも時間があるときには読んでいます。

「読書の秋」という言葉の由来は、中国の唐代の詩人、韓愈（かんゆ）が息子の符に贈った詩「符読書城南（ふしょをよむじょうなん）」にあるとされています。その一節に出てくる「燈火親しむべし」、秋は夜が涼しく、明かりの下で学問や読書をするのに向いている、という意味の言葉が、秋と読書を結びつける原点になったと言われています。

10月27日には「読書の日」という記念日があります。「読書週間」の初日であることが由来で、読書週間は毎年10月27日から11月9日まで行われます。涼しさが増し、本を手に取りやすくなる季節に、読書への関心を高める期間として親しまれています。

大人になるにつれて読書をする機会が減った方も多いと思いますが、読書週間をきっかけに、ゆっくりと読書をして過ごす時間を持つてみてはいかがでしょうか？（く）



耐水紙のご案内

弊社で取り扱いのある「耐水紙」についていくつかご紹介いたします。
屋外での使用や食品・物流分野など、耐水性が求められる場面に適しています。

・OKレインガード(王子エフテックス)

【規格】 四六判T目 55kg / 70kg / 90kg / 110kg / 135kg / 172kg

屋外など水に濡れる場所でも使用できるよう開発された印刷用撥水紙です。
湿し水を使用する多色のオフセット印刷やレーザー印刷が可能で、野外で使用するレジャー用品から
冷凍冷蔵食品の包装紙まで、様々な分野で活躍します。

・撥水ラップ(リンテック)

【規格】 ハترون判 108kg / 129.5kg

雨水などに濡れても浸透しにくい高い撥水性が実現されたクラフト紙です。
オフセット印刷やフレクソ印刷、レーザープリンター出力などに対応しており、宅配袋や封筒などの製袋
加工にも最適です。

・S三菱耐水(三菱製紙)

【規格】 L判T目 260g / 310g / 350g K判T目 260g / 310g / 350g

紙の全層に耐水処理を施してあり、特に断面からの水の浸透がしにくくなっています。
古紙・蛍光染料不使用により、食品包装用途にもご使用いただけます。

・耐水OKフレース(王子マテリア)

【規格】 L判T目 310g / 350g / 400g / 450g K判T目 310g / 350g / 400g / 450g

紙の全層へ耐水機能を付与してあり、厚みと強度があるため、加工もしやすい仕様です。
「OKフレースPro」に耐水性を付与した特殊白板紙で、海産物や洋菓子パッケージとして使用されています。

上記商品に関するご質問やご相談につきましては、直接担当までお問い合わせください。
皆様からのお問い合わせをお待ちしております。(R)



湯けむり国スポ・全スポぐんま2029



2029年(令和11年)に群馬県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催されることが、2026年7月15日の日本スポーツ協会理事会で正式に決定しました。群馬県での国スポ(国体)開催は1983年(昭和58年)の「あかぎ国体」以来46年ぶりとなるそうです。当時私は小さかったので全く記憶にないのですが、車の免許を取得した頃にあかぎ国体にあわせて整備された「国体道路」があることを知り、何度か利用したことがあります。今回は「湯けむり国スポ・全スポぐんま」という愛称が付けられていますが、それには温泉から湧き出る湯けむりのように、会場が熱気に包まれるような熱戦が繰り広げられてほしいという思いが込められているそうです。まだ、3年後と先の話になりますが楽しみにしたいと思います。

ちなみに、今年の国スポは青森県で開催され、10月には高校野球競技(硬式)で本県の健大高崎と和歌山県の智辯和歌山も出場するそうなので、対戦が実現したらぜひリベンジしてほしいです。(よ)

頭の体操

バラバラになったパーツを組み合わせて、二字熟語を完成させましょう。

【例】斗 王 米 里 ➡ 料理

① 白 糸 羽 東

② 立 里 言 舌

③ 日 十 言 寺

④ 日 日 日 日 立 口

葉

9月に入ってから長雨が続き、だいぶ涼しく秋めいてまいりました。

小紙冒頭でも触れましたように「読書の秋」ということで、今回は私の好きな小説について紹介させていただきます。

今回ご紹介するのは、太宰治の初期短編集『晩年』に収められている『葉』という作品です。こちらは短編集の冒頭を飾る、わずか20ページにも満たない作品です。その中で1行～数ページほどのごく短い断片が、次から次へと泡のように浮かんでは消えていく独特の構成になっています。

私はこの作品が大好きで、学生時代に初めて出会ってから20年以上、梅雨や秋雨の時期が訪れるたびに読み返しては物思いにふけています。読み返すたび、その時の自分の年齢や境遇に応じて、それぞれ違った印象を残してくれるのです。

学生の頃は、とにかく作品全体から漂う退廃的な雰囲気に強く惹かれました。しかし今読むと、そんな退廃の空気の中で、それでも微かな希望を抱いて生きていこうとする「祈り」のようなものに心を打たれます。特に今回は、作品終盤に出てくる「異人の花売りの少女」のエピソードが非常に印象深く残りました。どのような内容なのかは、ぜひ実際にお読みになって確かめてみてください。

『晩年』は文庫本で500円程度、もしくはインターネット上の「青空文庫」にて無料で読むことができます。(さ)

頭の体操 解答

それぞれの答えは以下の通りです。

① 白 糸 羽 東 ➡ 練習

② 立 里 言 舌 ➡ 童話

③ 日 十 言 寺 ➡ 時計

④ 日 日 日 日 立 口 ➡ 暗唱